

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2025年10月～12月期

第119回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和7年7月～9月比
 - (2)前年同期比 令和6年10月～12月比
 - (3)来期見通し 令和8年1月～3月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	162社
回答率	32.4%

(業種別)

製造業	51社
建設業	39社
卸売業	10社
小売業	25社
サービス業	37社
合計	162社

(2) 調査対象月

2025年10月～12月期

(3) 調査依頼期間

2026年1月26日(月)～2026年2月12日(木)

(4) 調査内容

調査対象の第3四半期の前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

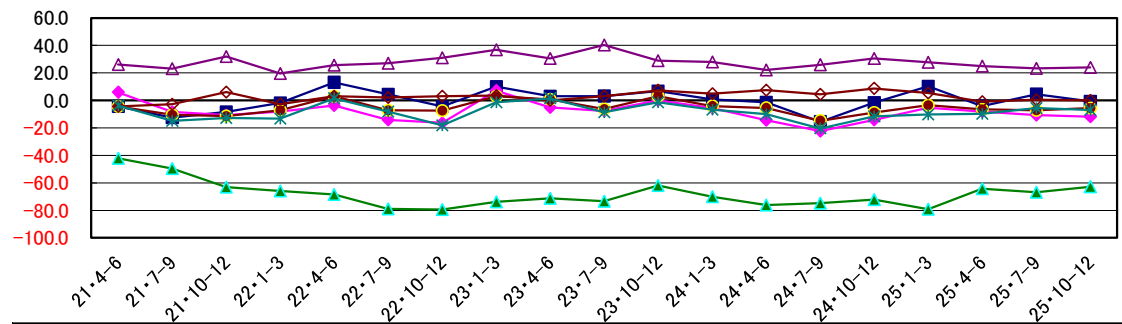
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



	21-4-6	21-7-9	21-10-12	22-1-3	22-4-6	22-7-9	22-10-12	23-1-3	23-4-6	23-7-9	23-10-12	24-1-3	24-4-6	24-7-9	24-10-12	25-1-3	25-4-6	25-7-9	25-10-12
■ 売上	-4.4	-12.4	-8.4	-1.8	13.1	4.3	-4.4	9.9	2.9	3.1	6.7	0.82	-1.52	-15.5	-1.74	10.34	-4.03	4.52	-0.62
◆ 採算	5.9	-8.4	-10.7	-8.1	-3.7	-14.3	-16.3	7.1	-5.1	-7.8	0.0	-5.74	-14.5	-22.4	-14.04	-5.22	-8.13	-10.67	-11.8
● 資金繰り	-4.4	-10.5	-11.5	-7.3	3.0	-7.2	-7.5	2.9	0.7	-6.2	3.0	-4.17	-5.38	-14.8	-8.85	-3.4	-6.56	-7.34	-5.63
▲ 仕入価格	-42.2	-49.6	-63.3	-66.1	-68.6	-79.1	-79.4	-73.8	-71.3	-73.4	-61.9	-70.2	-76.34	-74.8	-72.17	-79.3	-64.52	-66.85	-62.73
△ 雇用状況	26.3	23.1	32.0	19.6	25.5	27.1	31.1	36.9	30.7	40.3	29.1	28.1	22.14	25.9	30.7	27.8	25	23.43	24.05
◇ 設備投資	-4.4	-2.8	6.2	-2.7	2.9	2.2	2.9	3.5	0	3.1	7.4	4.959	7.63	4.3	8.7	5.26	-0.81	0.56	0
* 業況	-3.7	-14.9	-12.9	-13.4	1.5	-8.1	-18.2	-1.5	1.5	-8.7	-1.5	-6.67	-10.08	-20.4	-11.71	-10.34	-9.68	-5.75	-6.92

3. 概況

(1) 今期の特徴

今期は雇用状況のDI値は不足であったが、設備投資DIは0、その他のDI値は悪化した。売上DIについて、前期はプラスであったが、今期はマイナスに悪化した。また、前期同様仕入価格DIが大きくマイナスになった。業種問わず、物価高騰による経費の増加の影響を受けているというコメントが多かった。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、今期同様の業況が続く、または悪化すると推測した企業があった。好転する要因がなく、厳しい状況が続くと予想する回答があった一方で、季節的要因で需要の増加が見込めるというコメントも見られた。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「人件費の増加」、3位「需要の停滞」、4位「従業員の不足」、5位「熟練技術者(従業者)の不足」という結果になった。

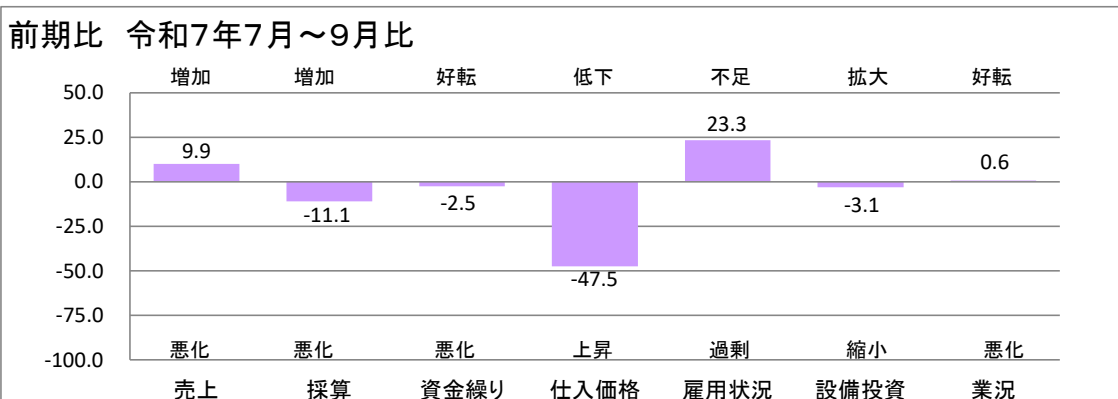
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「その他の合理化を実施したい」、4位「新規市場を開拓したい」、5位「新製品の開発を行いたい」という結果になった。

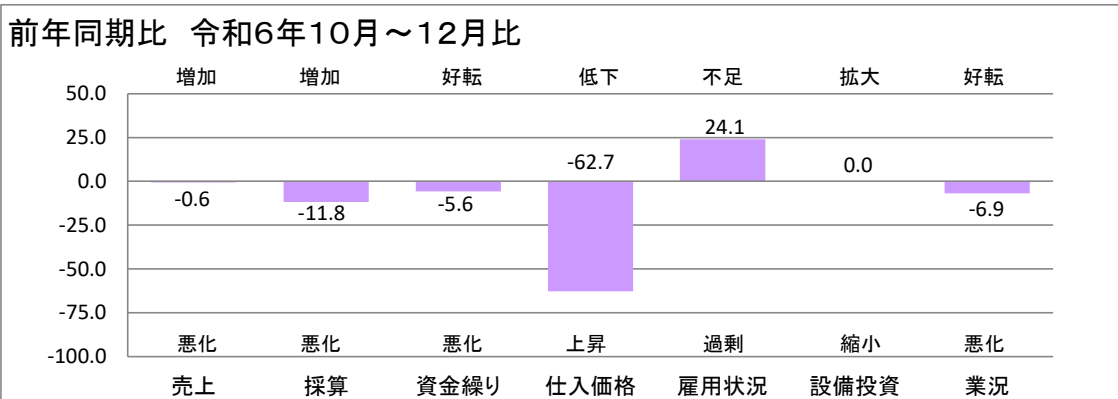
(5) 総括・分析

全業種を通じて、売上は増加しているものの、物価高騰の影響で経費も増加しているため、厳しい状況に変わりがないという回答があった。その一方で、業種によっては、年度末の需要の増加が期待できるというコメントが見られた。また、価格転嫁を実施して、利益率が向上したという声もあった。

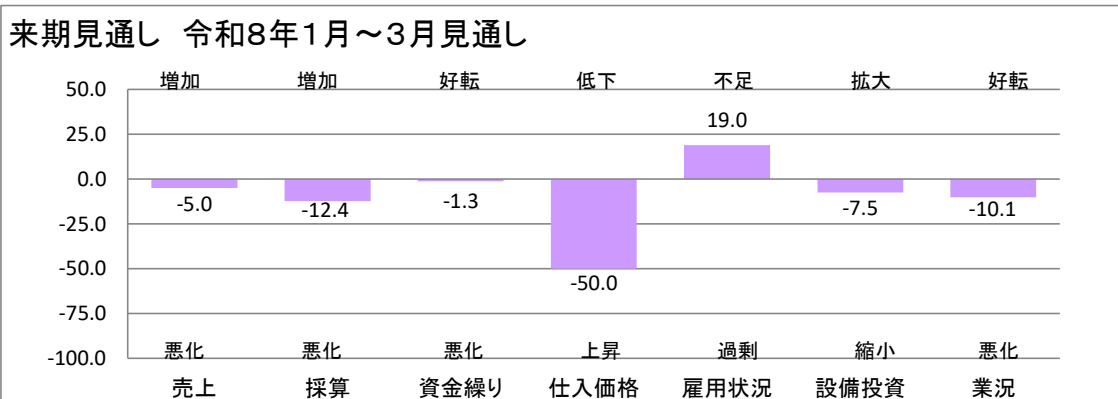
4. 県内の景気動向(全業種)



前期比は、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIはわずかに好転となった。仕入価格DIは、全業種において上昇していた。また、一部の業種で需要の停滞が課題として挙げられたが、売上DIは全業種でプラスの値を示していた。



前年同期比は、売上DIはわずかに悪化、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化となった。仕入価格DIは、全業種において上昇しており、建設業のみ、受注案件の増加によって業況が好転しているという結果になった。

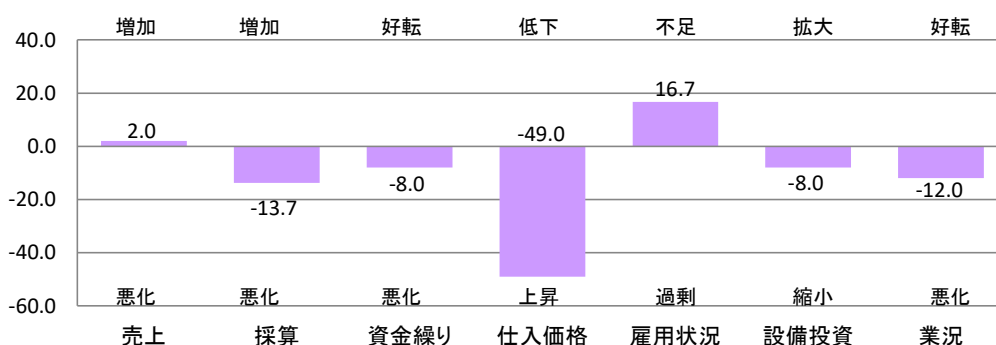


来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。物価高騰の影響による仕入費用、人件費の上昇や消費者の買い控えの影響で、厳しい状況が続くと推測する企業が多く見られた。

5. 業種別の景気動向

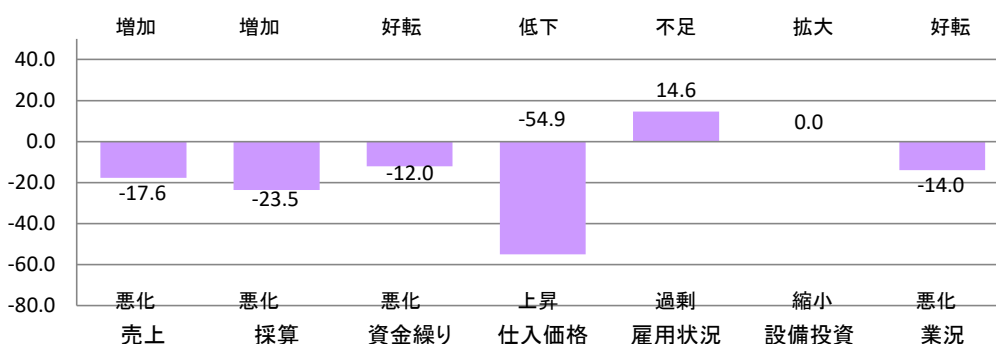
(1) 製造業

前期比 令和7年7月～9月比



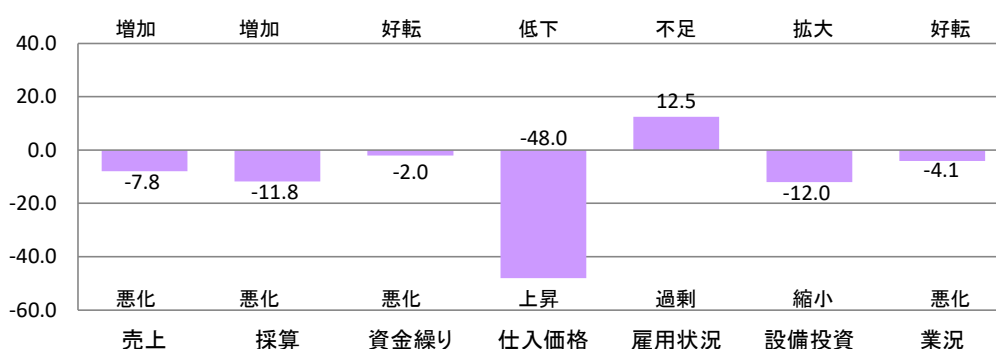
前期比は、売上DIはやや増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。設備投資の減少や材料費の高騰によって、厳しい状況が続いているというコメントが多くあった。また、需要が少ないため価格転嫁が難しいという回答もあった。

前年同期比 令和6年10月～12月比



前年同期比は、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化となった。原材料価格の大幅な上昇に伴って売価が高騰したことで、取引先からの注文数が半減したという回答があった。また、什器や材料等の価格上昇分を売価に転嫁できているというコメントもあった。

来期見通し 令和8年1月～3月見通し

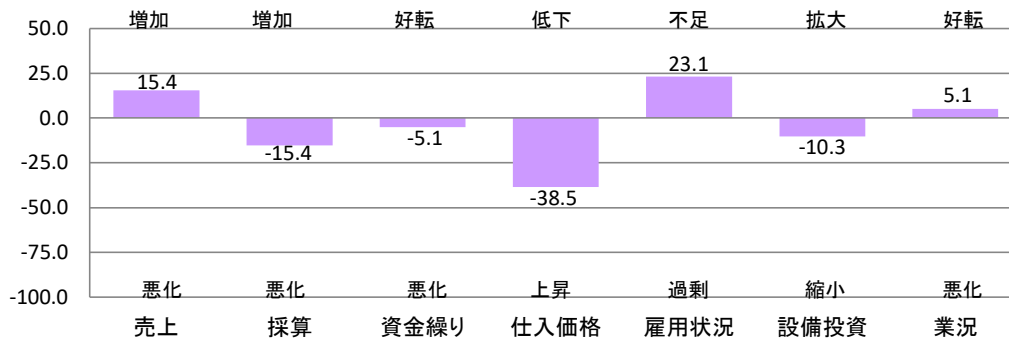


来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DI、業況DIは悪化となった。年度末に完工する工事が多いため、業況が好転すると予測する声があった。また、円安の影響で原材料のコストの増加を懸念するコメントもあった。

5. 業種別の景気動向

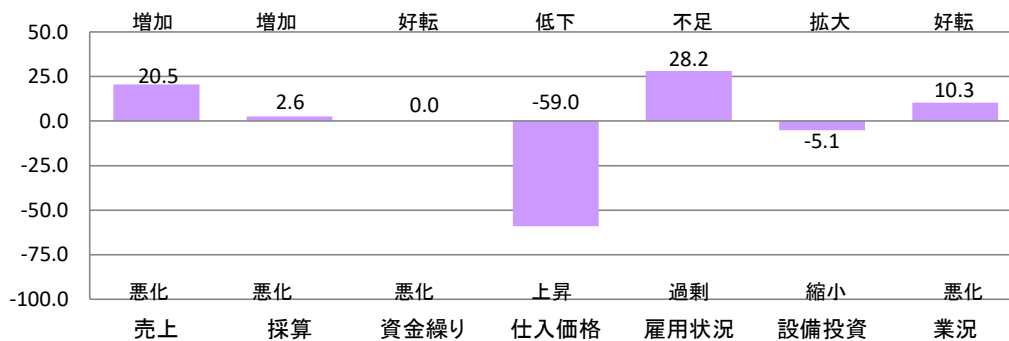
(2) 建設業

前期比 令和7年7月～9月比



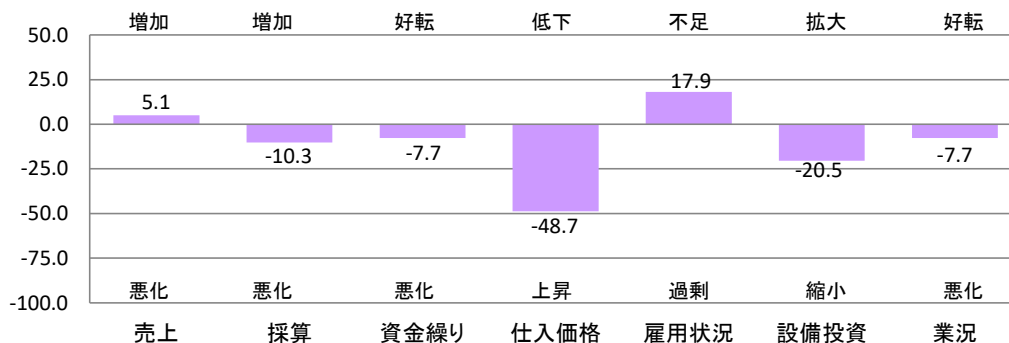
前期比は、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは好転となった。大型工事の完成によって収益が好転したという回答があった。また、公共工事の受注件数が減少したが、民間の受注増加でカバーできているという声もあった。

前年同期比 令和6年10月～12月比



前年同期比は、売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは0、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは好転となった。売上が増加、または変化がないが、材料費や人件費の高騰で経費が増加しているという回答がいくつか見られた。また、住宅需要が少なく、価格転嫁を実施できないという声もあった。

来期見通し 令和8年1月～3月見通し

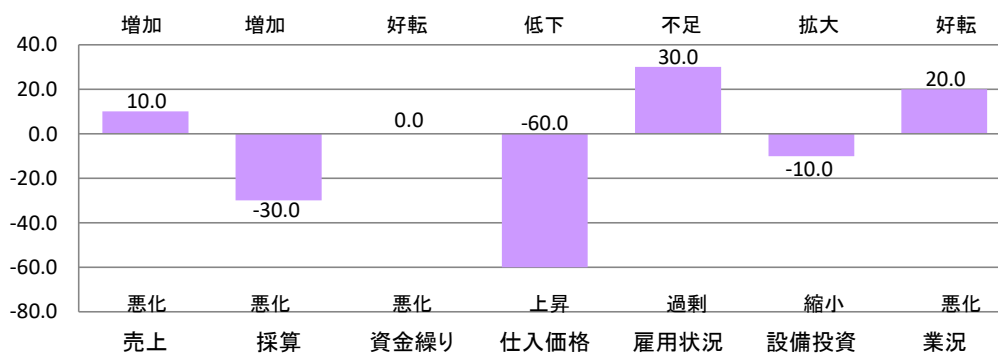


来期見通しは、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。需要の停滞や値上げ、運賃の上昇の影響により、厳しい状況が続いている。また、受注の増加が期待できるが、同時に人材不足も課題だというコメントもあった。

5. 業種別の景気動向

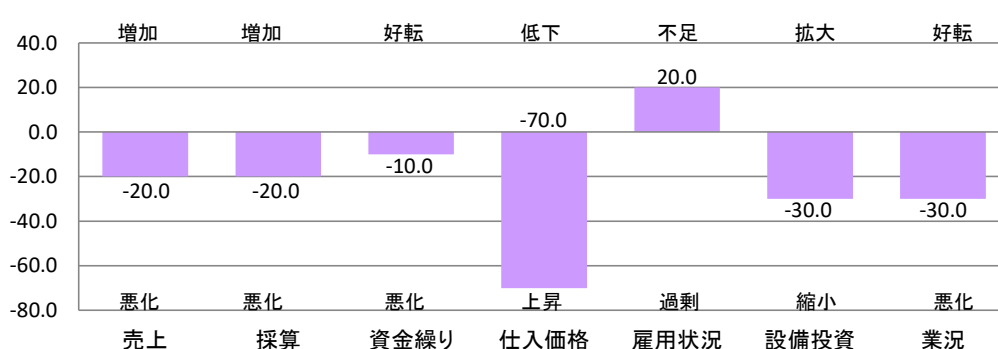
(3) 卸売業

前期比 令和7年7月～9月比



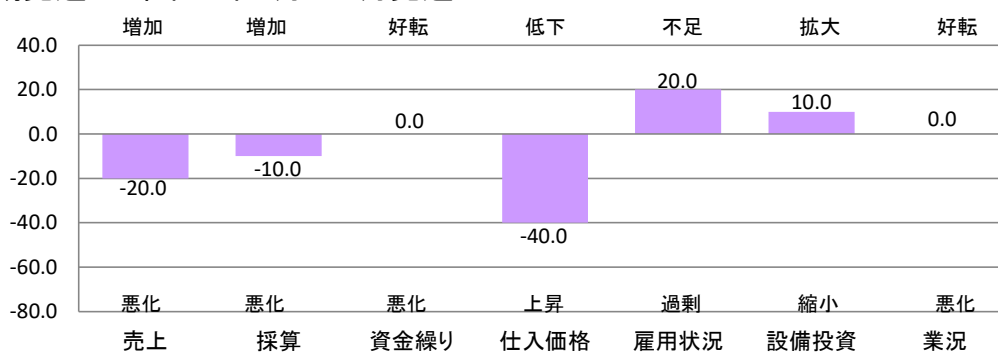
前期比は、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは好転となった。売上取扱量が年々減少していく一方で、仕入価格は年々上がっているという回答があった。また、飲食卸売業では、ビール市場の混乱によって、商品供給がストップして大打撃を受けたという声もあった。

前年同期比 令和6年10月～12月比



前年同期比は、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。海外輸出が好調で売上増加となった企業が見られた。その一方で、買い控えの影響で年末年始にかかる商品が動かず、業況が悪化しているというコメントもあった。

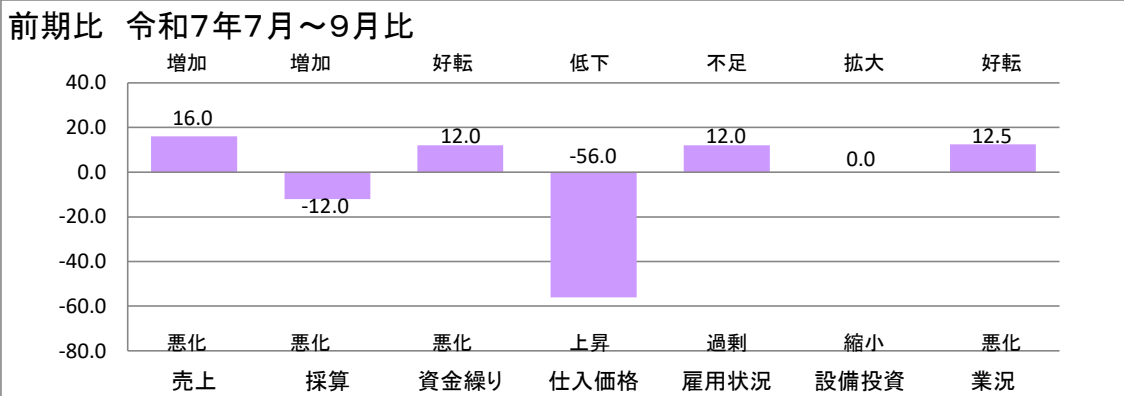
来期見通し 令和8年1月～3月見通し



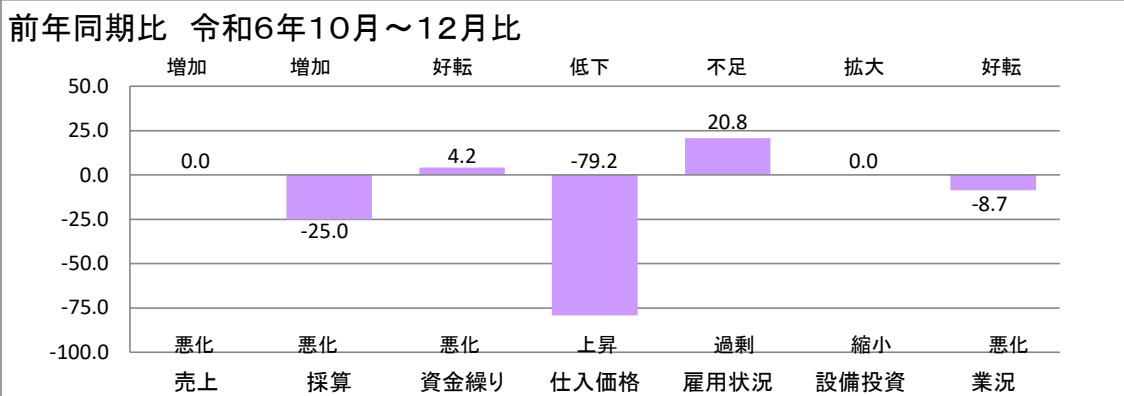
来期見通しは、売上DI、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは0となった。メーカー側から値上げの通達があり、売上に影響すると予測するコメントがあった。一方で、仕入価格の低下による受注の増加を期待する声があった。

5. 業種別の景気動向

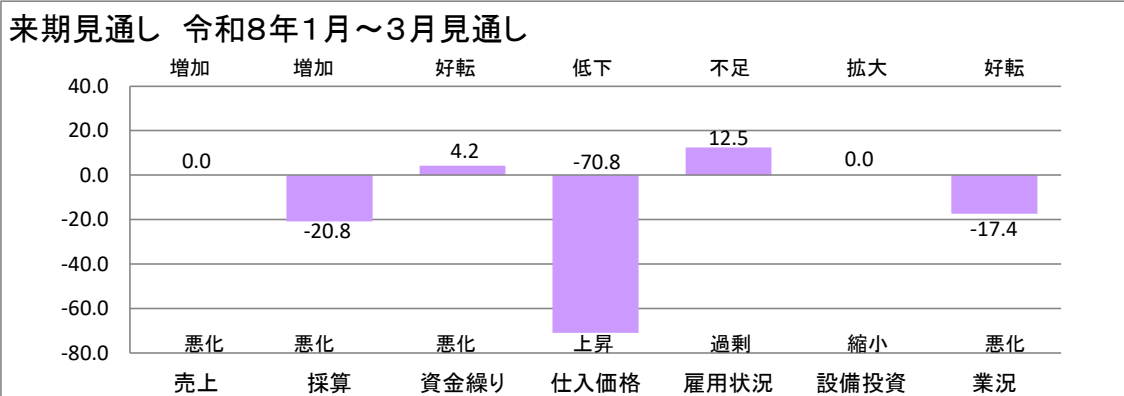
(4) 小売業



前期比は、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは好転となった。冬の商戦・ギフト等の需要の増加の影響で好調であるという回答がいくつか見られた。一方で、売上・利益ともに減少傾向にあることに加えて、借入金の金利上昇によってさらに負担が増加したというコメントもあった。



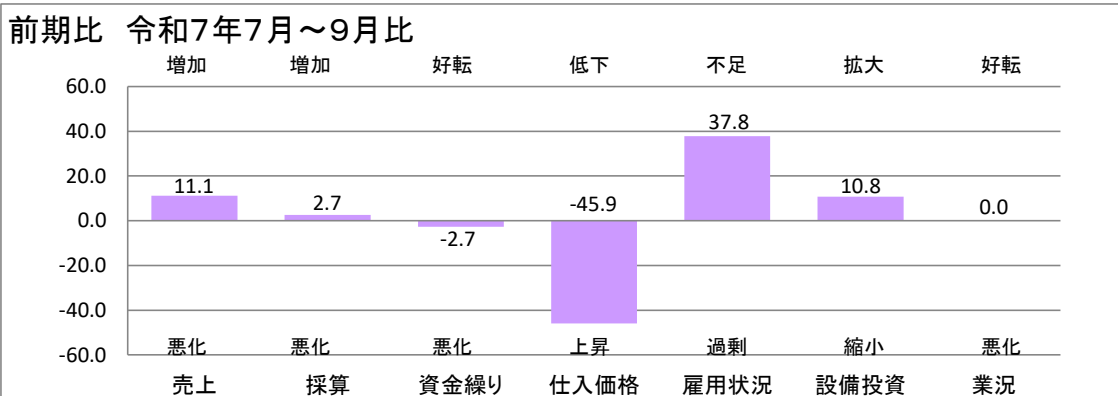
前年同期比は、売上DIは0、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化となった。仕入価格DIは全業種の中で上昇ポイントが最も高くなった。材料代を含む仕入コストや人件費の高騰、売上の減少によって厳しい状況であるというコメントが見られた。また、トランプ関税による対米輸出規制で、原材料が上昇しているという声もあった。



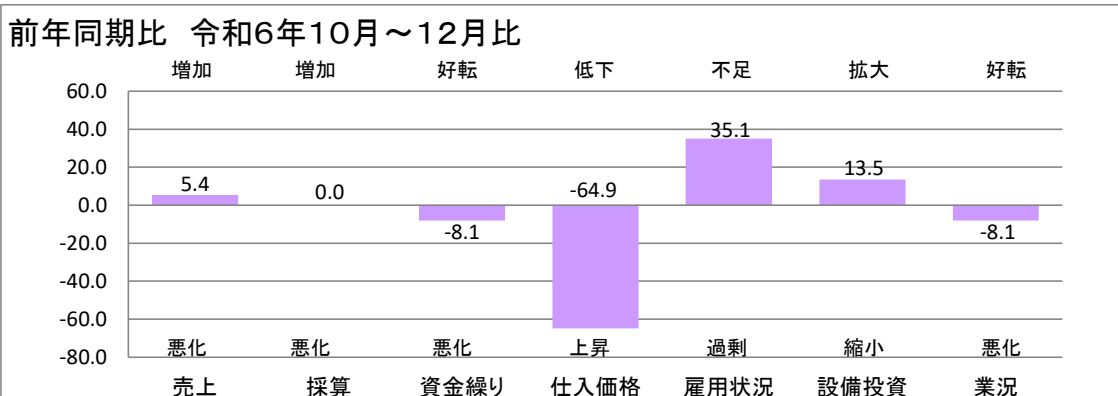
来期見通しは、売上DIは0、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化となった。売上の減少、材料代を含む仕入コストや人件費の増加が厳しい状況だという回答があった。また、需要が活発でないため、価格転嫁が難しいというコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

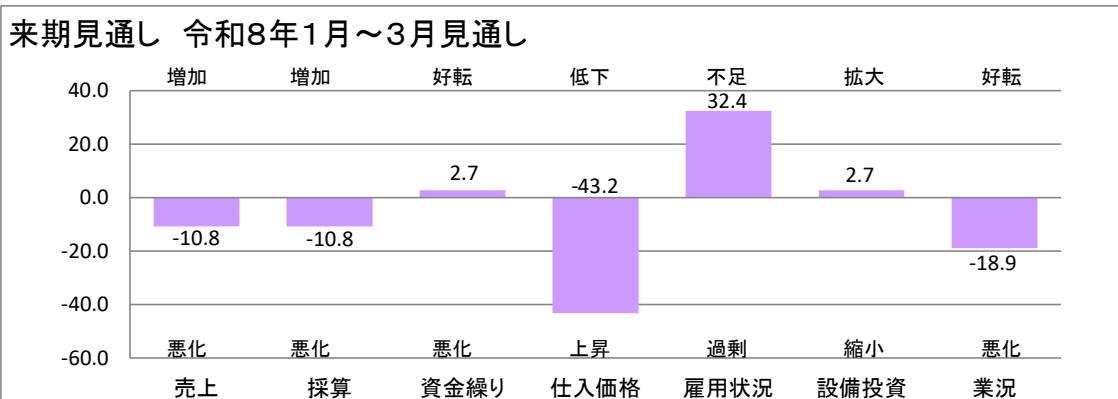
(5) サービス業



前期比は、売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは0となった。仕入価格や材料費が上昇し続けており、厳しい状況にあるというコメントがあった。また、受注状況の回復の傾向が見られないという声もあった。

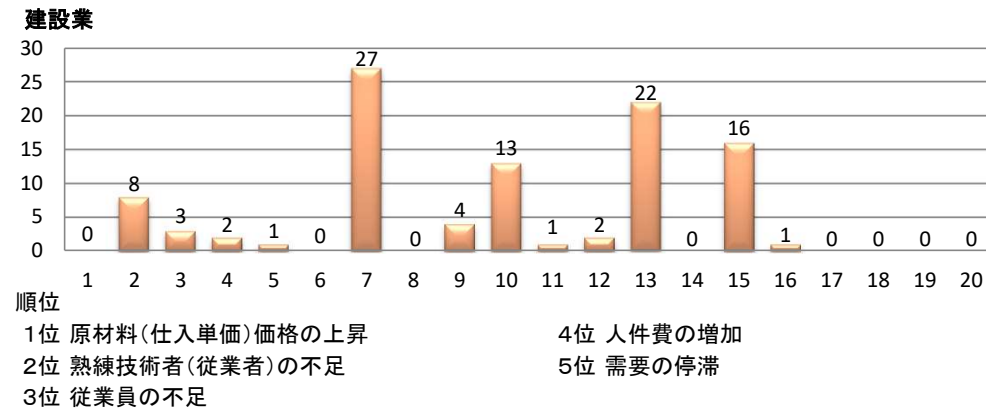
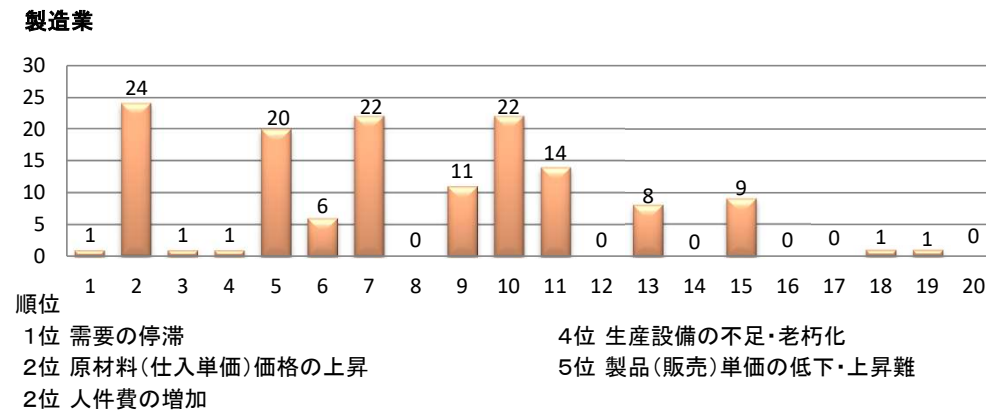
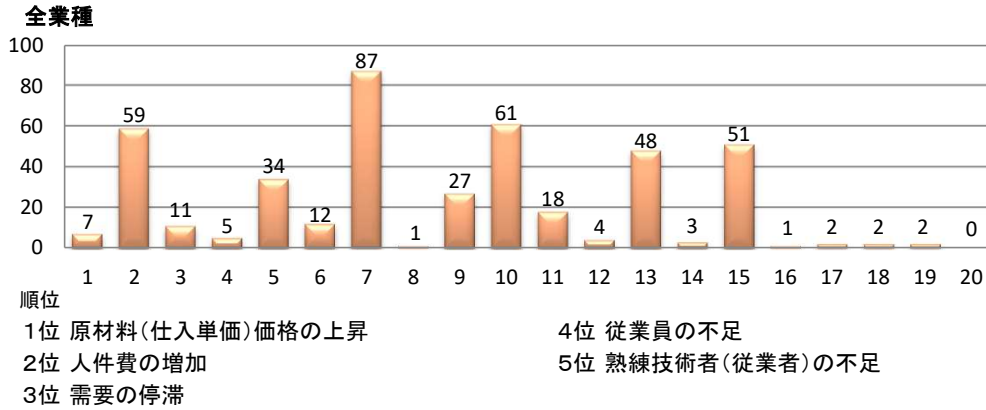


前年同期比は、売上DIは増加、採算DIは0、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化となった。受注件数に変化はなかったが、燃料費や材料費の高騰の影響があるというコメントが多くあった。一方で、本体価格を値上げして、業況が好転したという回答もあった。



来期見通しは、売上DI、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化となった。材料費等や人件費の価格高騰で、厳しい状況が続くと予測するコメントがあった。需要が停滞しており、受注の状況が回復する見込みがないという声があった。

6. 経営上の問題点

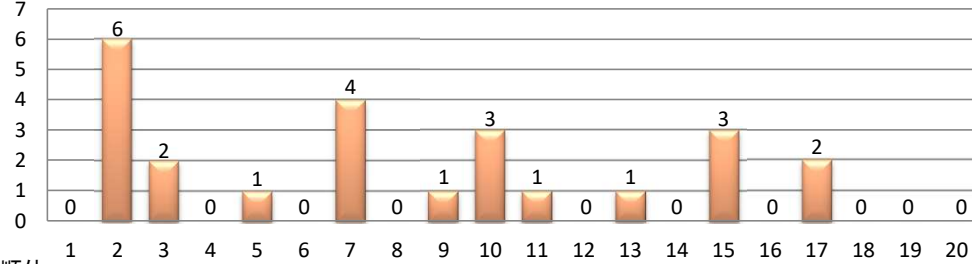


【項目一覧】

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の進出による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

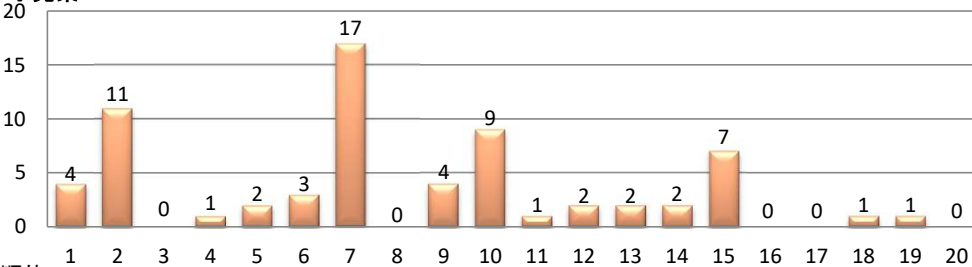
卸売業



順位

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1位 需要の停滞 | 3位 従業員の不足 |
| 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 5位 県内大手企業の進出による競争の激化 |
| 3位 人件費の増加 | 5位 商品在庫の過剰 |

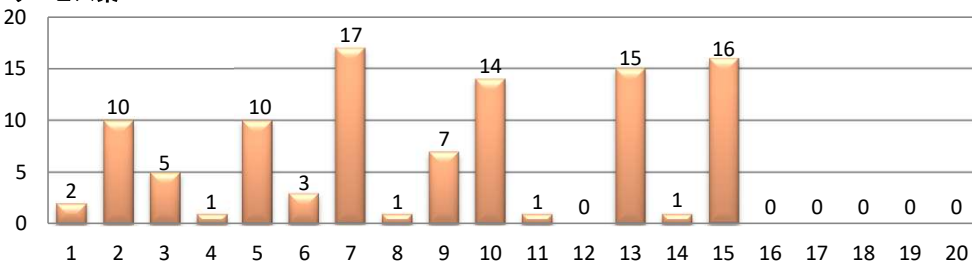
小売業



順位

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 4位 従業員の不足 |
| 2位 需要の停滞 | 5位 県内大手企業の進出による競争の激化 |
| 3位 人件費の増加 | 5位 原材料・人件費以外の経費の増加 |

サービス業



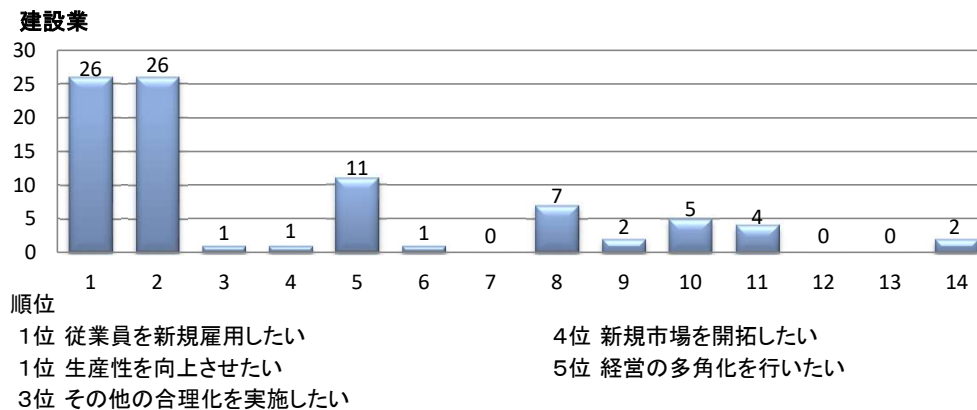
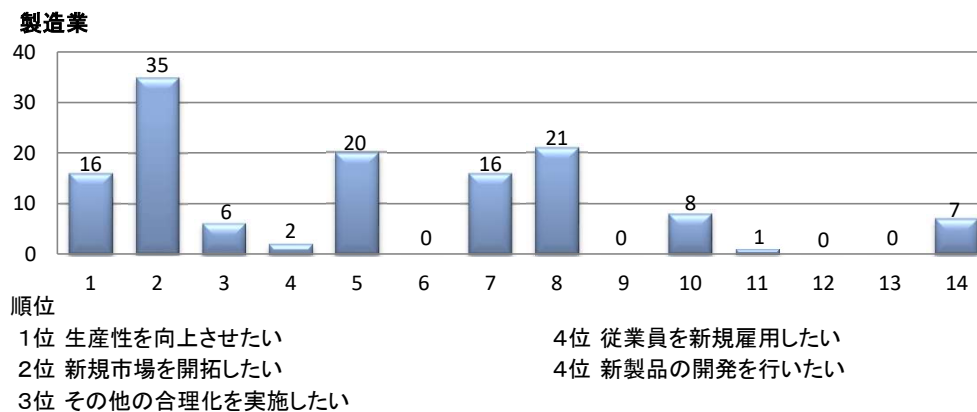
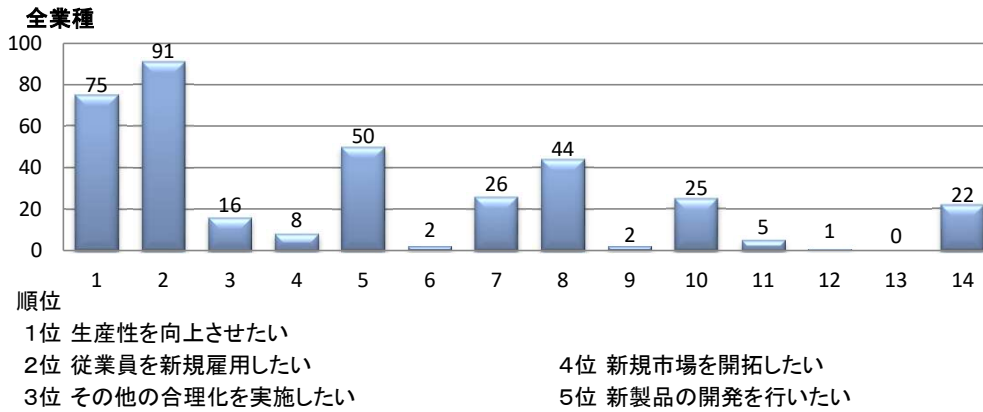
順位

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 4位 人件費の増加 |
| 2位 従業員の不足 | 5位 需要の停滞 |
| 3位 熟練技術者(従業者)の不足 | 5位 生産設備の不足・老朽化 |

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の進出による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

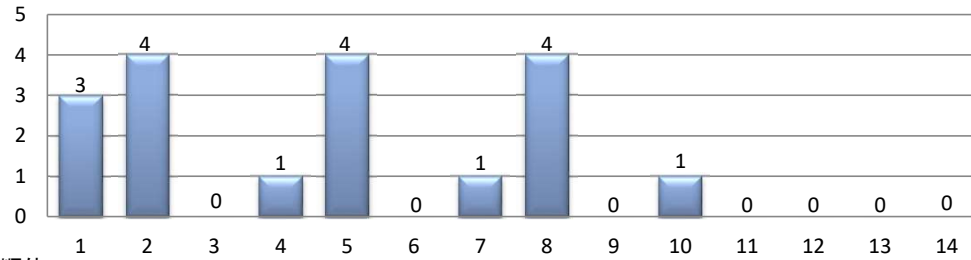


【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

7. 今後の対応策

卸売業



順位

1位 生産性を向上させたい

1位 その他の合理化を実施したい

1位 新規市場を開拓したい

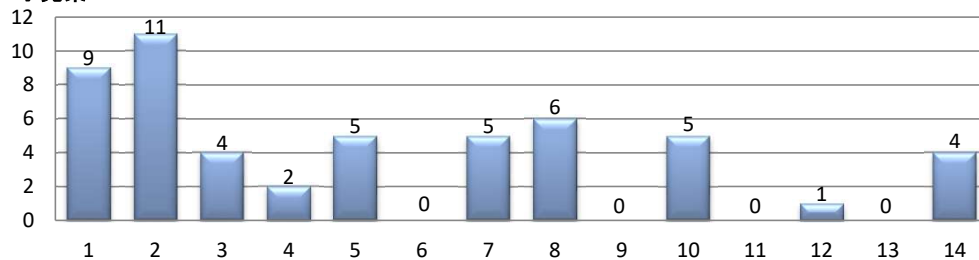
4位 従業員を新規雇用したい

5位 生産調整を行いたい(操業短縮等)

5位 新製品の開発を行いたい

5位 経営の多角化を行いたい

小売業



順位

1位 生産性を向上させたい

2位 従業員を新規雇用したい

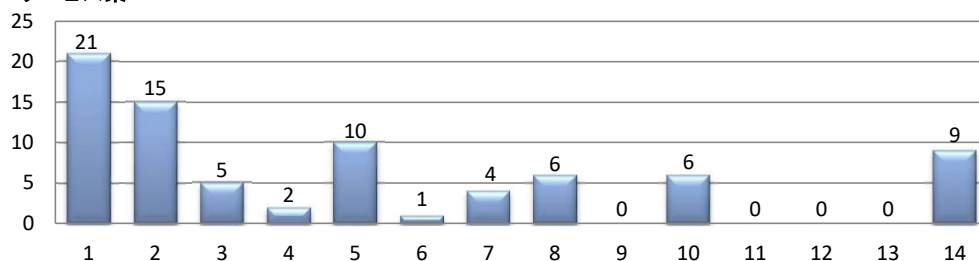
3位 新規市場を開拓したい

4位 その他の合理化を実施したい

4位 新製品の開発を行いたい

4位 経営の多角化を実施したい

サービス業



順位

1位 従業員を新規雇用したい

2位 生産性を向上させたい

3位 その他の合理化を実施したい

4位 その他(例えば:価格転嫁)

5位 新規市場を開拓したい

5位 経営の多角化を行いたい

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
小売業	総合小売業	都城	3月から4月に向けての物価高騰支援券大いに期待しています。
建設業	土木建築工事	都城	物価高騰や人件費の増加により原価率が上昇しているも、価格反映までに時間を要するため、下請業者の資金繰りの悪化が懸念されます。適正な価格が常態化するまで、何らかの対策の検討をお願いしたい。
サービス業	衣料品販売業	都城	前期に引き続き久しぶりにご来店の方から、春夏はがまんしていたとお声あり。価格も上昇中、取引先の破産等あり、低価格の取引先を探るか検討中。可処分所得を増やす政策を希望。
製造業	繊維製品製造業	都城	積極財政期待しています。高市政権による成長戦略の実現を期待します。
建設業	管・水道施設工事業	都城	物価高対策が急務ではないか。資材等が値上がりし設備投資を抑える傾向が見受けられる。

建設業	建設業	都城	建築業法12/12改正施行、下請法から取適法へ。これにより、労務費コストのアップがついてまわります。公共の国体工事も減りますので、公共工事での景気対策(公共工事増額)期待します。
製造業	電気・電子機器	都城	製造経費が上昇している中(人件費、原材料全て)、価格転嫁出来る環境になる様進めて頂きたい。
小売業	飲食料品小売業	都城	人件費が今後増加するにつれ社会保険料等も増加していきます。ムダのない運営や支援などが増えると嬉しいです。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	助成金等の利用をもう少し簡単に分かりやすいようにしてほしい。
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	地域創生を推し進め、地域からの人口流出を止めて欲しい。
サービス業	レンタカーリース	宮崎	規制緩和と法制度の見直しの観点から、紙媒体だけでなく貸渡証の電子化、スマホ・タブレット等のデジタルデータを認め、DXを推奨する。管理コストを削減やセルフチェックにて、有人スタッフを介するのではなく、業務効率化を目指す。

製造業	各種漬物製造業	宮崎	経常利益の伸長が悪く、工場経費の支出の増加もあり、厳しい経営状況である。
製造業	総合印刷	宮崎	受注件数が極端に少なくなっている。官公需はもとより、民間企業からの受注も減少している。そのうえ、資材環境については、10%から20%の値上げ通知が来ている。最低賃金の引き上げも追い打ちとなり、経営環境は厳しい。
卸売業	電設資材卸売業	宮崎	地方創生(防災、国土強靱化、活性化事業等)をもっと強く推進する。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	移動費・宿泊費が観光客の旅費コストをかなり圧迫しているとの声が多くあり、街中での購買や飲食費に回せる金額が減っているため、旅費補助などで対応して欲しい。補助50%(上限3,000円)などは、キャンプ等のイベント時はもう少し考えてほしい。
製造業	鋼材加工販売	延岡	県北地区の国・県の土木、建築の公共工事がかなり減少しているように感じる
建設業	土木建設	延岡	延岡市発注の工事(建築)が激減している。発注を要望する。

建設業	電気工事	延岡	照明器具の納期の遅延。全国的なLED化工事の需要が異常に多くてメーカーは対応ができない状況です。弊社の工事請負期間内に完成が間に合わなくなってきている。
製造業	電気機械器具製造業	延岡	衆議院選挙の結果によっては財政政策や景気対策が今後どうなっていくか不透明である。労働基準法の大改正が検討されているようだが、中小企業の実態に即した改正になることを期待します。
卸売業	酒類・食品卸売	日向	近年最低賃金の上昇が急になっていますが月給制の場合年間休日を増やすほど月給が上がることになります。そこで最低賃金の決定の際は時給だけではなく月給制の最低賃金まで決定していただくよう希望します
建設業	建設業	日南	時限的な消費税の引き下げは悪くないと思うが、恒久的となると今後の財政状況が不安である。即効性はなくても長期的な対策をお願いしたい。
サービス業	廃棄物処理業	日南	賃上げを促進させるため適正価格での発注をお願いしたい。

小売業	家電販売	日南	デジタル化によって何が出来るようになるのか、どのように導入すればよいのか、どのように運用していけばよいのか、というのを具体的に分かりやすく示してほしい。業況ごとに細分化して示してもらえると導入をためらっている企業も取捨選択して導入しやすくなるのではないかと思う。
小売業	事務機、事務用品販売	小林	政局の安定化と中国の動向が一番の懸念材料。国際情勢も和平に向けて動いてもらいたい。
建設業	住宅建築業	串間	物価高と共に賃金高が重なり一軒に対する工事額も百万単位で上昇しています。また、建築基準も厳しくなり、施工側は戸惑うばかりです。
小売業	飲食業	西都	メニューの価格を4月から変更するにあたり、価格調整中。
建設業	水道工事業	西都	最低賃金の上昇等について、現在の物価高騰等を考えるとやむを得ないと感じるが、零細企業に於いては、大きな負担となっていると思われます。雇用者と被雇用者のバランスを考慮して設定して頂きたい。地方は、人口の流出が多く、労働力や消費力の低下→働き口の減少→人口流出の加速と負のスパイラルが続いていると思われます。なんとか、都市部集中から人口の平準化へ進むように政策を練って頂きたい。
サービス業	美容業	西都	人口減少していく地区内で経営を続けていく中、同業社が増えてくると価格競争になりがちなので、政府としてもそのようなことにならないように支援策を考えてほしい。

製造業	製造業	西都	原材料、資材の高騰が続いているが、なかなか商品単価への転嫁が難しい。人材の確保が非常に困難であり社員の高齢化も進んでいるので行政他にも協力頂いています。海外への焼酎拡大については行政の支援もあり、ありがたいです。
サービス業	自動車整備業	西都	価格競争(入札等)をやめてほしい→サービスの低下
小売業	調剤・医薬品販売	西都	仕入値の上昇がまだ続いていて、売値に転嫁出来ず、加えて需要の停滞感が強く、閉塞した状況が続いている。
サービス業	クリーニング業	西都	ガソリンは値下げされたが、燃料(灯油)等は下がらず、又仕入等の油類は上昇が続いている。
サービス業	写真業	西都	消費税の廃止、こどもの数を増やす対策を最優先事項。
卸売業	お茶・しいたけ	西都	生産体制を整えて安定的な経営を図るためには、パートの可処分所得を確保するため、社会保険料の壁(130万)をクリアすべく税制改正が必要である。